

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会

小林市開催推進総合計画

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」（以下「両大会」という。）の成功に向け、市民・関係団体・企業・行政が支え合い、小林の総力を結集し、オール小林で、来訪者を心のこもったおもてなしでお迎えし、本市の魅力あふれる大会を目指し、小林市開催基本方針に基づき開催推進総合計画を定めるものとする。

1 基本方針

（１）総務企画

県、競技団体、関係機関及び関係団体（以下「関係機関等」という。）と緊密に連携し、両大会を一過性のものとせず、大会前、大会中、そして大会後を見据え、本市の都市像である「みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかところ小林市」の実現につながる大会とするため、総合的な計画の立案と施策の推進を図る。

（２）財務

関係機関等との相互協力のもと、創意工夫を凝らした魅力あふれる大会を目指し、適切で効率的な財務の運営を図る。

（３）広報

両大会に対する市民の関心や参加意欲を高めるため、デジタル技術を積極的に活用し、効果的な広報活動を展開するとともに、参加した選手をはじめ、両大会に関わった人々を通じて、小林市の自然や産業、文化などの多彩な魅力を全国に向けて発信する。

（４）市民運動

市民一人ひとりが大会開催の意義を理解し、それぞれの立場で積極的に参加する気運の醸成を図るとともに、市民総参加のもと一丸となって大会を盛り上げていくことにより、両大会終了後も地域活性化の推進につなげる。

（５）観光・接伴

全国から訪れる選手、監督をはじめ、本市を訪れるすべての方々を温かくお迎えするとともに、歴史、文化、自然、食など本市の多彩な魅力を広く紹介し、また訪れていただけるよう心のこもったおもてなしを提供する。

（６）競技

関係機関等と緊密に連携し、円滑で効率的な運営を行うものとする。

(7) 式典

関係機関等と十分に協議し、創意工夫を凝らし、本市の特色を生かした温かみのある式典とする。

(8) 施設

国民スポーツ大会開催基準要項に規定されている施設基準を尊重し、既存施設の有効活用を図るとともに、両大会開催後の利活用にも配慮した整備に努める。

(9) 宿泊

選手、監督をはじめ大会関係者等の宿泊については、宿泊施設等の関係機関等と緊密に連携し、安全で快適な宿舎の確保を図り、受入れ体制の確立を図る。

(10) 医事・衛生

両大会に関わるすべての方々が、清潔かつ快適な環境のもとで、十分な活躍と観覧ができるよう、関係機関等の協力を得ながら、食品衛生及び環境衛生に配慮するとともに、防疫体制及び医療救護体制を確立する。

(11) 輸送・交通

本市の交通事情を勘案し、交通事業者その他関係機関等との連携により、安心・安全かつ効率的な輸送手段の確保に努める。併せて、公共交通機関の利用を促進するなど交通混雑緩和と環境に配慮した輸送・交通体制の確立を図る。

(12) 消防・警備

競技会場その他大会関係施設における災害の防止、治安の確保及び非常時における緊急対応に万全を期するため、消防、警察その他関係機関等と緊密に連携し、消防・警備体制の確立を図る。